

おわりに

本調査研究会は、近年、急速に広く普及してきている電子商品監視（EAS）機器、無線LAN装置及びRFID機器から発射される電波が植込み型心臓ペースメーカー等に及ぼす影響に関する詳細な調査を行い、調査結果から必要に応じて新たな指針等を発表する等により、植込み型心臓ペースメーカー等装着者の不安を軽減し、安心して電子商品監視機器、無線LAN装置およびRFID機器と共存できる電波環境の確保を目的として調査検討を行った。

今回の調査研究において、電子商品監視（EAS）機器については、植込み型心臓ペースメーカー等装着者への影響が現れる可能性があるため、電子商品監視（EAS）機器による電波の影響を防止するための指針を示すことができた。無線LAN装置については、1機種の植込み型心臓ペースメーカーで影響があったものの、関連組織の協力により対応を行い、その他の機器について影響のないことを確認した。また、RFID機器は、ゲートタイプ及びハンディタイプについて調査を行い、植込み型心臓ペースメーカー等に影響を与える可能性があるため、RFID機器による電波の影響を防止するための指針を示すことができた。以上のことから国民の不安を軽減し、安心して電子商品監視（EAS）機器、無線LAN装置およびRFID機器を利用できる電波環境の確保に寄与できれば幸いである。また、RFID機器は、ゲートタイプ及びハンディタイプの他に据置きタイプとその他のタイプがあるため、引き続き調査研究を行う必要がある。

最後に、本調査研究会の座長を務めていただいた東京女子医科大学 高倉学長を始めとする各委員の方々および試験にご協力いただいたペースメーカー協議会、日本EAS機器協議会、（社）日本自動認識システム協会、情報通信ネットワーク産業協会の各組織に厚く御礼申し上げる次第である。